

質問順位	10	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要旨		メモ	
1. 財政政策	1. 非常事態宣言の報道について	1. 新年度予算の記者発表で、「非常事態宣言の可能性を示唆した」と報じられた。どのような認識で、このような市民を驚かせるような言葉を使ったのか。①非常事態宣言の目的をどう考えたか②非常事態宣言の実績。道内市・町を含めて③「財政健全化計画を新年度の早期に策定する」のだから不適切だったのではないか。			
	2. 市税と普通交付税の減額見込み内訳について	1. 5年間の中期試算では「市税と普通交付税合わせて毎年1億2,000万円ずつ減少する」としている。この内訳の説明を求める。①市税が人口減少で減る金額②固定資産の評価額見直しで減る金額③基準財政収入額の減少額④普通交付税の③による増額⑤普通交付税の人口減少による減額⑥普通交付税のその他の原因による減額			
	3. 借換え債の計画づくりについて	1. 基金がゼロになれば、市の財政運営は困難になる。そこで借換えについて徹底的な計画づくりを求める。借換えについて総務省担当所管は、①道が許可する②耐用年数を超えない範囲での長期化③公債費比率が悪化しないなどを上げている。そこで、普通会計の中で耐用年数を超えない起債残高はどれくらいあるのか。			
2. 農業行政	1. 米価大幅下落の影響と生産調整について	1. 政府は2018年度から生産調整をしない（減反政策をやめる）ことを決めています。農家経営と地元経済への影響は深刻です。生産者からは、「政府が生産調整を放棄すれば、米価は大きく変動する」などの声が聞かれます。国として生産調整をしないことについて、市の考え方は、			

質問順位	10	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
		2. 「下落が数年続けば滝川でも離農が一気に出る。」「離農しても農地の借り手はいない。耕作放棄地になる。」との声が聞かれる。これから農地を借りて面積を広げても利益につながらないので、耕作放棄地になる可能性が高いのではないか。			
	2. 新規就農、後継者対策について	1. 耕作放棄地が増えることは、消費減少など地域経済にとって深刻。中小企業の廃業と同じ影響が出る。そこで、①市独自の後継者・新規就農者育成確保対策事業の基準額増額を求めるが、考えについて伺う。②道内外の農業系大学等で説明会や資料配布、道東等の地方紙への広告など募集強化を求めるが、考えについて伺う。			
		2. 市内の酪農・畜産農家は約10戸あり高齢化が進んでいる。道東の新規就農希望者に滝川の立地条件の良さを伝え、早急な「居抜き」による経営継承対策を求めるが、考えについて伺う。			
3. 栄町3-3地区再開 発事業	1. 市のリスクについて	1. 経済建設常任委員会提出資料によると、「リスク軽減策」として3点あげられているが、代行型開発では、建物取得事業者と購入金額を定めるほか、どのような契約を結ぶのか。			

質問順位	10	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要旨		メモ	
		2. プロジェクトファイナンスの活用と述べているが、どのようなものか。市が債務補償などするのか。			
	2. 市民への説明について	1. 6月の第2回定例会に補助金約4億円を支出する予算が提案される予定だが、財政が厳しい中で、市民の納得が必要と考える。その方法として建物使用事業者、事業内容についての市民説明は必須と考えるが、どのように進めるのか。			
4. 福祉行政	1. 介護士不足について	1. 市内の介護労働者のうち夜勤、深夜勤がある人は300名は下らないと思う。これらの労働者の人数や子育て世代など年齢構成についてどのように把握しているか。			
		2. 市内の①託児施設がある病院数②介護士も利用できるかどうか、についてどのように把握しているのか。			

質問順位	10	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
		3. 介護士が利用できる夜間の託児施設を開設することが求められる。特に介護士が多く、緑寿園の建替えて更に40人増が必要な江部乙地区に設置することは、同地域の人口減少を止める対策にもなる。①事業所・介護士に対するニーズ調査の実施②国の制度は5年間に限定されるので、これを補完する市独自制度を検討しながら開設支援を求めるが、市の考えを伺う。			
5. 公営住宅	1. 道営住宅（啓南、滝の川）の建替えについて	1. 募集停止して1年が経つが、道内の募集停止団地が建替えを待っている。滝川市の前に募集停止して建替え待ちになっている団地はどの程度あるのか。			
	2. 市営住宅の建替え	1. 浴室が無い市営住宅の建替え完了にはまだ11年以上かかる。そこで①このことを耐用年数が過ぎ、浴室が無いままの入居者に説明し、それまでの修繕などの要望を聞いているのか②財政健全化計画の中に、建替えの前倒しと一般会計からの繰り出し検討を強く求めるが、考えを伺う。			
6. 高齢者の居住対策	1. 所得に応じた施設増について	1. 有料老人ホーム（介護や食事を提供）は、届け出が必要ですが、2013年10月末現在、道内では431件が未届けであることが、4日、道議会で明らかになった。①市内及び中・北空知の無届けの状況は②ホームの閉鎖もあり得るのではないか。その場合、入居者の行き場はあるのか。			

質問順位	10	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目		要旨	メモ	
			<p>2. 高林デパート跡地の栄町3-3地区再開発事業計画が大詰めを迎え、「高齢者福祉施設」が明記されていることは重要です。しかし、介護付有料老人ホーム、認知症対応型グループホームなど「1か月15万円以上かかり、国民年金では入れない。しかし、入るところが無いので、合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の方が半分以上入居している」実態は深刻です。所得に応じた介護付施設が圧倒的に少ないのではないかと。</p>		
			<p>3. 以上を考慮するなら、所得に応じて入居でき、要介護2程度まで介護できる「特定施設入居者生活介護」付のケアハウス等の建設が進められるような対策が必要ではないかと。(建替えてサービス内容が強化される緑寿園のケアハウス、養護老人ホーム以外に)</p>		
7. 子ども・子育て支援	1. 学童クラブの40人超過の対策の早期実施について		<p>1. 2か所のクラブが40名を越え運営に支障をきたし、コミュニティセンターの他の利用にも影響が出てきたので、他のコミュニティ施設への分散が行われると考えていた。しかし、滝川市子ども・子育て支援事業計画(案)では、「学校施設の活用」を協議し、4年後までに学校を活用する計画を示した。課題も多いので、まずは他のコミセンに分散させながら、学校活用を協議する進め方にすべきではないかと。</p>		

質問順位	10	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
8. 教育行政	1. 江陵中学校の改修について	1. 江陵中学校について耐震改修までの予算が計上された。本来なら大規模改修か建替えであるべきだが、耐震改修に留まった理由は。			
		2. 暖房、机などの教室の設備、体育館や実習室、学校開放設備、美観などは、大規模改修以上の工事が実施されなければ改善されないと考えるが、新年度において何か耐震以外に改善はあるのか。また、大規模改修等は、その後何年程度で実施する計画か。			
	2. 保護者負担軽減策について	1. 義務教育での保護者負担を減らすことが喫緊の課題になっている。そこで、①柔道着を生徒全員に支給する、またはレンタルの活用を検討すること。②制服・ジャージの購入が大変という声が強い。負担軽減のための対策を講ずることを求めるが、考えを伺う。			

質問順位	10	質問者	清水雅人 議員	件名	項目	要旨	メモ
					3. 奨学金制度の復活について	1. 大学、専門学校などを対象とする給付制、あるいは金利なしの奨学金制度の創設について検討を求めるが、考えを伺う。(市内就職、専攻科目限定、成績優秀者、保護者所得制限等の条件を付けて)	
					4. パークゴルフ場の運営について	1. 「市の財政が大変と聞くが、このまま進めるのか」「遠く、高いので行けない」との声が強い。①パークゴルフ愛好家など多くの市民が経済的・交通機関などの理由で行けない懸念に対し、どのような対策があるのか②市民に対する半額券の実施をすべき③ふれ愛の里線の延長をすべきではないか。	